

地域鉄道フォーラム 2024

交流人口の拡大と鉄道



2024年6月8日(土)

13時~15時 12時30分開場



ホームページ

会場:東武博物館ホール 東武スカイツリーライン東向島駅下車1分

参加費:無料 ただし、東武博物館への入館料(大人210円)が必要です

参加申込み:ホームページから(<https://ecotran.or.jp/>)

プログラム

- 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 山崎雅生氏
- 基調講演1 「観光立国欧州の鉄道から学ぶ」 東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏
- 基調講演2 「温泉観光地と鉄道の深い関係」 温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井宏子氏
- トークセッション 「交流人口の拡大と地域の鉄道」
コーディネーター/國學院大學観光まちづくり学部教授 楓 千里氏
東洋大学国際観光学部教授 黒崎文雄氏
温泉ビューティ研究家・トラベルジャーナリスト 石井宏子氏
跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部准教授 篠原 靖氏



山崎雅生氏
鉄道局鉄道事業課長



黒崎文雄氏
東洋大学教授



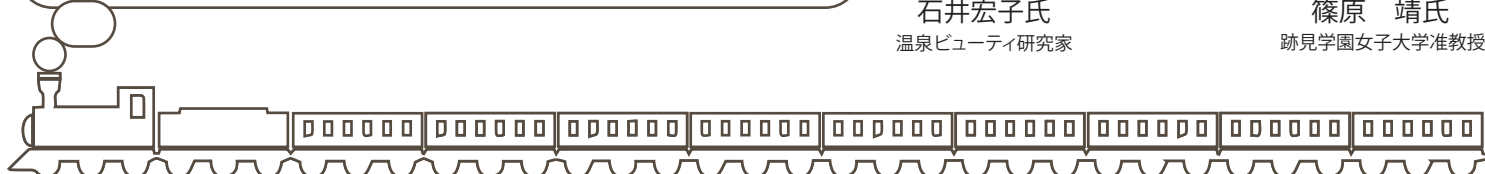
楓 千里氏
國學院大學教授



石井宏子氏
温泉ビューティ研究家



篠原 靖氏
跡見学園女子大学准教授



プロフィール (敬称略)

来賓あいさつ

山崎雅生 Yamazaki Masaki



国土交通省鉄道局鉄道事業課長

1999年運輸省(現国土交通省)入省。運輸政策局、鉄道局、都市局、海事局、北海道運輸局、自動車局、航空局、在イタリア大使館一等書記官、航空局航空ネットワーク部空港経営改革推進室長、北海道庁経済部次長、北海道庁観光振興監を経て2023年より現職。鉄道局勤務は2回目。

基調講演1 / トークセッション

黒崎文雄 Kurosaki Fumio



東洋大学国際観光学部教授

1988年JR東日本入社。国際鉄道連合(UIC)世界部、運輸調査局(現交通経済研究所)などの勤務を経て2019年より現職。研究テーマは、国内外の鉄道改革、公共交通の経営。論文「鉄道の上下分離に関する分析」で、2010年に日本交通学会賞(論文の部)受賞、2012年に土木学会より国際活動奨励賞を受賞。近年の論文に「北海道新幹線札幌開業に伴う函館本線の運営形態についての一考察」(「交通と統計」No.73)。

基調講演2 / トークセッション

石井宏子 Ishii Hiroko



温泉ビューティ研究者・トラベルジャーナリスト

日本・世界の温泉や大自然を旅して写真撮影・執筆を行う。温泉・自然・食で美しくなる旅には専ら鉄道を利用。観光鉄道のアドバイザーも務める。2012年には国土交通省地域鉄道の再生・活性化等研究会の委員を務める。杏林大学観光交流文化学科兼任講師(温泉療養学)、日本温泉気候物理医学会会員、日本温泉科学会会員、日本旅のペンクラブ会員、気候療法士(ドイツ)、温泉入浴指導員。著書に『感動の温泉宿100』(2018年文春新書)『新・温泉ビューティ』(2023年グリーンキャット)ほか。

トークセッション

楓 千里 Kaede Chisato



國學院大学 観光まちづくり学部教授。

株式会社日本交通公社(現株式会社JTB)において月刊誌『るるぶ』の編集を経て、月刊誌『旅』の編集長を務め、「鉄道新時代」、「ローカル列車でぶらり旅」、「終着駅から始まる旅」等の鉄道特集を組む。その後、株式会社JTBパブリッシング取締役、同社エクゼクティブ・アドバイザーを経て、2020年より現職。

国土交通省国土審議会専門委員のほか、文化庁、東京都等の各種委員会委員を務める。共著に『観光まちづくりのための地域の見方・調べ方・考え方』(2023年朝倉書店)。

篠原 靖 Shinohara Yasushi



跡見学園女子大学観光コミュニティ学部准教授

東武トラベル株式会社(現東武トップツアーズ株式会社)入社、旅行商品の企画、新たな観光プログラムの開発や人材育成に携わる。2010年より現職。(公社)日本観光振興協会総合研究所客員研究員。研究テーマは、交流・関係人口拡大論。

国土交通省インフラツーリズム有識者懇談会委員、地域鉄道の再生・活性化等研究会委員、内閣府地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー等政府の委員を歴任。著書に『観光デザイン入門』(2013年日本経済評論社)、『もっと日本が好きになる!なるほど都道府県312』(2019年えほんの杜)。

一般社団法人交通環境整備ネットワーク(略称JNSTE、愛称ecotran)は、「鉄道はエコ、鉄道でエコ」を合言葉に、鉄道を軸とした地域の交通環境を整備し、環境負荷の小さい交通体系の構築と公共の福祉を向上させることを目的として2009年に創設されました。

交通環境の調査研究を進めると共に地域鉄道事業の活性化のための諸活動を行っております。